ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区　田原 聖子通信

No.018　2026年5月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

第97回メーデー　私たちの運動こそが社会を変える

働く人の賃金上げよう!

5月1日、第97回メーデーが開催されました。今年は、労組時代に実行委員をしていた三多摩メーデーに参加。久しぶりに仲間たちと団結を固め、今後の闘いにむけてエネルギーをもらいました。

高市政権は過去最大となる約9兆円の軍事費を計上、新たに統合作戦本部を設置して日米の軍事一体化をはかって「戦争国家づくり」を着々と進める中で、自衛隊が米国の戦争に動員される重大な危険が高まっています。

同時に政府・大企業は、労働基準法を骨抜きにする労働時間の「デロゲーション（規制の例外・適用除外）」拡大を企んでいます。メーデーの起源である「8時間労働制」を根本から崩すものであり、許すわけにはいきません。

トランプ米大統領による「相互関税」の押しつけで、世界経済の不透明感は極度に高まっています。労働者が直面する困難をすべての働く仲間との連帯で打開することが重要です。

2026年の最低賃金改定は、全国加重平均5.0%の引き上げに。労働者・労働組合の運動が、政府、大企業、マスメディアを動かしています。メーデーでは、仲間の声に確信を持ち、最賃全国一律2000円をめざす奮闘が呼びかけられました。

悪化する中小企業の経営改善とあわせ、労働者の賃上げ、労働条件の改善に向けて、力をあわせてがんばります。



三多摩メーデー会場で　＝5月1日、三鷹市・井の頭公園



メーデー会場で原田ひろみ清瀬市長と



5.3 憲法大集会の会場にて

ストリート対話 in 東十条商店街



宇都宮ゆり区議（右）と

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに、尊厳が尊重される社会をめざして

結ちゃんの姉が就職しました。なんと、養護学校（特別支援学校の前身）の親と先生たちが自治体と話し合って作った障害者施設の相談支援専門員に。大学で社会福祉士をめざして勉強している時は、福祉のどの分野に興味があるのかな、と思っていたのですが。



大好きなブランコ

姉は5歳の時に母親が妊娠し、保育園に迎えに行くと、友達に大きくなっていくお腹を自慢。その後、生まれた妹は3歳になるまで入退院を繰り返し、何度も病院の廊下で両親を待つことに。治療後も母親は、土日ごとに妹を連れて労働組合と共産党の活動へ。

思い出すと理解しがたくて、就職先の仕事をホームページで見てみると、「利用者の心身状況、環境等を把握したうえで適切な福祉サービスが効果的且つ効率的に提供されるように配慮し、サービス等利用計画を作成します。継続的な評価を実施します」と。

ん? と言うことは、妹も親も状況を把握されて、適切な生活をするように計画されるのでは、と戦々恐々です。

ご相談はお気軽に

- 生活：携帯代が払えない。家賃が高い。食費を削っている。
- 家族：家族やパートナーとの関係がつらい。子育てがつらい。
- 仕事：親の介護で働き続けられない。病気になった。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党・田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 5939-6581 FAX 5939-6582
mail: kitachikutou@gmail.com